

小・中学校 統合・再編

No.9

が閉校)

・平成29年4月 田尻小学校が川床小学校に統合(田尻小学校が閉校)

・平成30年4月 汐見小学校が城川内小学校に統合(汐見小学校が閉校) 予定

このように、11校あった小学校が平成30年4月には7校に統合・再編されることになりました。

■中学校の統合・再編

長島高校跡地に1校に集約する案が否決され、その後、三者協議などを経て2校案が示されました。

地域での説明会を開催する中で、子を持つ親の意見を集約することになり、川床中学校区と平尾中学校区でアンケートが実施されました。アンケート結果は次のとおりです。

・川床中学校と鷹巣中学校の統合・再編について
(1) 川床中学校区保護者アンケートの結果
1回目(賛成29・0割、反対35・5割、分からない・決定に従う35・5割)
2回目(賛成35・65割、反対63・48割、無回答0・87割)

(2) 保護者による検討結果
町が推進する鷹巣中学校との2校案には反対。4校を1校に統合し、新設を希望する。

長島町立小・中学校の統合・再編については、保護者や地域のかたがたへの説明会の開催や子を持つ親のかたがたを対象としたアンケートの実施など、これまで長い期間をかけて協議・検討してきました。

■小学校の統合・再編

子どもたちのために、よりよい教育環境を整備するために、複式学級の解消を推進してきました。その結果、次のように統合・再編が進みました。

・平成25年4月 獅子島小学校開校(獅子島小学校・幣串小学校が閉校)

・平成27年4月 本浦小学校が鷹巣小学校に統合(本浦小学校

・平尾中学校と長島中学校の統合・再編について

(1) 平尾中学校区保護者アンケートの結果
賛成47割、反対53割

(2) 保護者による検討結果

長島中学校のみと2校統合の2校案には反対。統合を進めるのは賛成。1校統合案を進めてほしい。

アンケートおよびその後の検討の結果、川床中学校区および平尾中学校区ともに、2校案には反対となりました。

■今後の対応などについて

小学校の統合・再編については、平成30年4月には7校に統合・再編されることになり、一定の進展が見られたと考えます。

今後においても複式学級の解消に向けて、機会をとらえて保護者や地域への説明などを続けていきます。

中学校の統合・再編については、明確な方向性を取りまとめることができず現状維持となりました。しかし、今後の生徒数の減少やこれまでの経過などを考慮すると、やはり1校が望ましいのではないかと考えます。

4校の中学校を1校に統合・再編する場合、場所や時期などの大変難しい問題もあります。が、広く意見を伺いながら方策を調査研究していきます。

株式会社ディーエイチシーと事業包括連携協定 農水産物を原料とした商品開発を期待

9月6日、役場庁議室で、長島町と株式会社ディーエイチシー(東京都・高橋芳枝代表取締役社長)との事業包括連携協定調印式が行われました。

同社は、さまざまなサプリメント製品を取り扱い、全国に会員1372万人を有する企業です。

今回の連携協定は、町民の健康づくりを推進し、さらなる地域産業の活性化を図るために締結したものです。

締結により今後、長島町のふるさと納税と連携することで、同社の有する会員ネットワークを通じて、本町のふるさと納税の情報を発信するだけでなく、東町漁業協同組合と業務提携も行い、加工品の過程から排出される骨類などを活用した研究開発、地元個人農家の協力を得て明日葉を活用した研究開発など地元の農水産物を原料とした商品開発が期待されます。

調印後、川添町長は「本町は農水産物の資源が豊富ではあるが、その資源を十分に活用できていない部分もある。ディーエイチシーの持っている情報力、

発信力・研究力を借り、本町の地域活性化に期待したい」と歓迎。同社の蒲原聖可研究顧問は「弊社の化粧品・健康食品メーカーとしての研究力・技術力を生かして長島町の豊富な資源の利活用に向けて研究を行います。今回の協定に基づき健康寿命の延伸に係る産業の創生への協力をすることで、長島町のさらなる地域活性化へ貢献できると確信しています」とあいさつしました。



→蒲原研究顧問と握手を交わす川添町長